

2021年 8月  
あさかせ保育園子育て支援だより 8月



8月、夏真っ盛りです。小学校のお兄ちゃん、お姉ちゃんは夏休みの宿題に奮闘中かな……。保育園の子どもたちも、夜の暑さの寝苦しさ・親戚の家や海に山へとあそびに行く機会も増え、生活リズムが乱れてきているのではないのでしょうか？

ただ、この夏もコロナのため行動範囲がかなり制限され、なんだか夏ならではの家庭でワクワクする遊びが経験できていないのでは……。とも心配しています。

毎回、掲載していますが保育園でも最大限の感染予防を行い、夏ならではの遊びを楽しんでいます。引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

話は変わりますが、8月にはお盆がありますよね。当たり前の事を今更……。と思われるでしょう。私は、お仏壇・お墓をお守りするものですから、お盆は大切な行事です。お墓掃除に始まり、御先祖様が気持ち良く我が家へお帰りになれるように仏壇の掃除・お供物等などの準備に追われます。今でこそ、集らなくなりましたが私の小さい頃には親戚中が我が家に集まり昼間から御馳走を食べていました。もちろん、同じ年頃のいとも大勢集まり、賑やかな一日を過ごしたものです。私は、いとこの中でも年齢的に小さい方でしたからか、結構周りの大人たちから「甘え」させてもらっていたように思います。(要領が良かったのかも 笑) 小さい頃の楽しい思い出として脳裏に焼き付いています。

保育園の子どもたちもお盆には、おじいちゃん・おばあちゃんの所へ行く事があるのではないのでしょうか？ 行く事がなかったとしても、お盆休みを利用して家族で遊ぶ機会もあるのでは……

仕事や日常の忙しさから時には離れて、子どもたちとしっかり触れ合う時間が持てるといいですね。ときには「まっ、いいか！」と余裕のある時間を持ってみてください。子どもたちを「甘やかす」のではなく「甘え」させてください。

「えっ！甘やかすと甘えは同じじゃないの？」と思われるのではないのでしょうか。そうですよね。本当にどこが違うのって思いますよね。

色々な方が言われている内容を要約して掲載させていただきます。

「甘え」は、子どもが人への信頼と思いやりを育みます。愛着関係を築くために必要不可欠なものだそうです。

「甘やかす」は、子どもの自立を阻む（はばむ）ものだそうです。

例えば、過干渉や大人が良かれと思って先回りして子どものやる事をしてしま

う（転んではいけないとカバンを持ってしまう・幼児になると着替えなど片付けてしまう等など・・・）子どもが自分で出来るのに親がやってしまう。これは単に親の都合ではないでしょうか。

大変、難しいですね。これは「甘え」？「甘やかし」？と子どもと向き合う度に考えていたら親子関係がぎこちなくなってしまうですね。

思うに、子どもが抱っこサインを出していたら、しっかり抱きしめる。子どもが話しかけてきたら向き合って聞く。それも「そうなんだ」と大きくうなずいて聞く。その時、手が離せず忙しい時もあるでしょう。

そんな時は、「ちょっとまってね。この御用事がすんだら聞くね（抱っこするね）」と言って必ず後から「さっきのお話はなあに？」と聞いてください。子どものことですから忘れているかもしれません。ですが、聞いてください。

または、抱きしめてください。急に抱きしめると子どももビックリしますよ。必ず言葉を添えてゆったりと抱きしめてください。

子どもなりに、母さん（父さん）は、自分のことを気にかけてくれているんだと心がほっこりするはずです。この、心がほっこりすることが大切だと思います。再度、子どもが自分で出来ることは先周りしてやらないでくださいね。これは、「甘やかし」になりますよ・・・。

今月は、ここまで・・・。

子育てが終わった ばあ～ばより

## ★平和の集いの様子



黙とうを  
しました